



# 5月園だより

令和8年5月1日  
目黒区立原町保育園園長

新緑の緑が眩しい季節となりました。新入児たちも園庭や散歩に出るなど戸外遊びも徐々に楽しむ姿が見られるようになってきました。また、先月には4、5歳児クラスは野川公園に遠足に行きました。バスが発車するとあちらこちらから「あっこ知ってる。〇〇に行く時の道だ」「〇〇の家はここ曲がって」など見える景色に会話も弾み、しりとりなどを楽しんだりしているうちに現地に着きました。公園では、ペアを組んでオリエンテーリングを楽しみながらシールを集めました。園長から出されたお題はライオン・恐竜・消防士などのポーズを取るというもので、ペアになった友達で考えポーズを決めていました。中には「かわいくないとヤダ」と主張するペアもいて「うさぎ」のお題ではポーズを取らず「プリンセスみたいなかわいいうさぎ」に内容を変えると納得しかわいいポーズをしてくれました。その後は、広い野原をひたすら走ったり、寝転がったり、虫探しをしてたっぷり遊びました。風に揺れる木々の葉の音や芝生の感触も感じ自然の空気をたくさん吸って身体全体で満喫してきました。戸外遊びで得られる体験も大切にしていきたいと思います。心も体ものびやかに成長できるように令和8年度のスローガン「らしさが光る原町保育園」を目指して保育していきたいと思います。

## 懇談会の予定

5歳児クラス懇談会

3歳児クラス懇談会

0歳児クラス懇談会

\*懇談会は3階ホールで行います。

(16:30~18:00)



定期健康診断 (0.1.2歳児)

ポニー教室 (5歳児)

定期健康診断 (3.4.5歳児)

避難訓練・身体計測



## こいのぼりをつくりました 5歳児クラス



色付け前にこいのぼりの布を紐で結んでいる様子です。

色付けの様子です。どんな色になるかなー？



「きれいなあかになったね～」と布の色が変わっている様子を楽しんでいる子どもたちです。

# ～各クラスの様子～



入園、進級から1ヶ月が経ち、楽しく遊んだり進級して大きくなったことを喜んでます。各クラスの子どもたちの姿をお知らせします。



## かえで組（0歳児クラス）

保育園での生活が始まり、不安や人見知りで泣いていた子どもたちでしたが、保育士と一緒に遊んだり、身の回りの世話をしてもらうことで少しずつ安心感が芽生え保育士にも笑顔を見せてくれるようになりました。

室内では寝返りやすすり這い、ハイハイで欲しい遊具に手を伸ばしたりするなど、一人ひとりがお気に入りの玩具で遊ぶ姿が出てきています。たくさん遊んでお腹も空き、意欲的に食べています。食事は保育士と1対1で食べていますが、モグモグと口を動かし、ごっくんとすると「あー」と声を出し笑顔でおいしさを伝えてくれます。大人との関わりを通して安心して、保育園生活に慣れてけるようけるように関わっていきます。



## いちよう組（2歳児クラス）

新しい玩具がいっぱいのお部屋に目を輝かせて過ごしている子どもたちです。色々な玩具が気になって手に取ってみたい、メニュー表を見ながら「どれがいいですか?」「〇〇できましたー!」とイメージを持って遊びを楽しんでいます。新しい先生、新しい友達のことも気になって「だあれ?」と聞いたり、名前を覚えると大きな声で「〇〇ちゃん! 〇〇せんせい!」と呼ぶ姿もあります。その中で友達の遊びが気になって真似したい、やってみたいという姿も増えてきました。友達と一緒に楽しく遊べるように、同じ玩具を用意したり、仲立ちをしていきながら関わりが広がっていくように見守っていきます。

## ぼぶら組（4歳児クラス）

ぼぶら組になり、新しい環境にドキドキしながらもお兄さんお姉さんになったことを喜んでいる子どもたちです。室内ではUNOや絵合わせカードなどルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ姿があります。「これを出すとどうなるんだっけ?」と友達や保育士にルールを聞いて確認したり、やりとりを楽しみながら一緒に遊んでいます。生活面では「次は何をするの?」と保育士に聞きながら見通しを持って向かう姿もあります。「自分でできるよ、見ててね」と身支度に向かい、終わると「ほら!」と嬉しそうに見せてくれます。

自分でやろうとする気持ちやできたことを保育士や友達と一緒に喜びながら、自信につながるよう関わっていきます。

## くるみ組（1歳児クラス）

新しいクラスや環境にドキドキしたり、不安な気持ちで涙がこぼれてしまう姿を、抱っこや優しい言葉かけなどをしてたくさん受け止めてきました。安心できる保育士のそばで少しずつ遊びにも興味を示し始めています。砂場では玩具を見つけると、砂をすくってお皿に入れたり、移し替えたりして「はい!」と保育士に手渡ししてくれます。周りの友達と「おいしいね～」と顔を見合わせたり「しゅ!」(いただきます)と手を合わせてままごとを楽しんでいます。子どもの思いに寄り添い、安心して探索したり、好きな遊びを見つけ楽しんでるよう関わっていきます。

## さくら組（3歳児クラス）

さくらぐみになったことを喜び、「もうさくらぐみだから」と朝の支度や着替えなど自分でやろうとする姿が見られるようになってきました。室内ではごっこ遊びの中でお母さんになって「寝かせてあげる」と寝かしつけたり、ご飯を作ったり、積み木や汽車レールを使って電車や車を走らせて、「こっちは駅ね」「ここは動物園」「いいね」などと一緒に作ることを楽しむ場面も出てきました。友達とやり取りをしながら、一緒に遊ぶことが楽しいと感じる姿が増えてきています。これからも期待いっぱいの子どもたちと様々なことに挑戦したり、たくさん一緒に遊んでいきます。



## くすのき組（5歳児クラス）

待ちに待った人数報告当番がはじまりました。表に日にちやくすのきぐみの人数を書いた後に、ぼぶら組とさくら組に行き、保育士に大きな声で挨拶をして人数を記入してもらいます。最後に事務所に行き、記入してある人数や活動を読み上げ報告します。担任が「大丈夫? 出来そう?」と確認すると「大丈夫! 出来る!!」と頼もしい返事が返ってきます。子どもたちの背中はずっとより少し大きく感じられました。報告を終え帰ってきた子どもたちの顔は凛々しく、保育士が「どうだった?」と声をかけると満面の笑みで「出来たよ!」と誇らしげに教えてくれます。くすのき組ならではの当番活動に意欲的に取り組み楽しみにする子どもたちです。